

## 理事会議事録

令和5年9月19日午後4時9分から、当法人の主たる事務所において、理事2名（総理時数3名）のもとに、理事会を開催し、下記議案につき可決確定の上、午後5時46分に解会した。

- (1) 第2期下半期の振り返り及び第3期事業計画策定
- (2) 3か年計画確認

(1)

### 1) 助成金

振り返り：

こくみん共済 COOP 助成金の採択事業にて、  
拡大版オープンデーの定期開催を行い、  
4月以降にこれまで接点がなかった運営スタッフの呼びかけにより地域住民の参加があった。また、ボランティアを希望する人の参加なども増えた。  
保護者対話会は予定通り、5月に開催できた。  
夏祭りは予定通り、8月に開催できた。

年賀寄付金配分事業の採択事業にて、  
スタッフ研修を5月、7月、8月に実施し、  
オンライン研修(2h)を6月に実施した。

9月にこくみん共済 COOP 助成金の2回目を申請できた。

反省点：

実施に関しては、計画通りできたとはいえ、準備にかかる時間が十分だったとは言い難い。

課題：

助成金に申請する事業の活動を担う人材確保や申請を行う人材確保ができていない。

対策：

引き続き、助成金獲得に向けての選定、スケジューリング、人員配置  
ビリーバーズ広尾+助成金申請が得意な人を見つけることを、行っていく

### 2) リアルな居場所第一号ビリーバーズ広尾の安定稼働に向けた取り組み

振り返り：

・下半期前半は、新体制作り時間に時間と労力を費やしたが、その甲斐あり、新体制が整い、安定稼働に近

い状態に持ってくることができた。

- ・学生や大人のボランティア受け入れ、稼働が増えてきた。
- ・日ごとの人数のばらつきがあり、解消に向けた取り組みには至っていない。
- ・新規メンバーとのミーティングやケース会議などを通して、新規メンバーが居心地よく勤務できる体制が整ったことで、子どもが落ち着いて過ごせる場としても整ってきた。
- ・業務プロセス改善を行い、効率的な事務作業ができるようになった。
- ・スタッフの提案により、保護者支援として、週1回のしゃべり場を7月より開催できた。
- ・保護者対話会の追加開催分として、9月30日(土)に開催決定済み。
- ・5月に実施した保護者対話会での子ども同士のトラブルでも、ビリーバーズ広尾の理念に基づいた適切な対応ができ、その後問題が悪化することなく対処できた。

反省：

- ・ビリーバーズ広尾の体制立て直しに時間と労力がかかりすぎたため、他の事業への取り組みが薄くなった。
- ・6月に予定していた子どもとの面談が、時間確保が困難だったためできなかった。

課題：

コミュニケーション不足の改善や、情報共有のやり方の改善で効果は認められるものの、まだ十分とは言い難い。

対策：

運営会議の定期開催

スタッフミーティングの定期開催

### 3) ビリーバーズプロジェクトの維持拡大を目指す

振り返り：

限られたリソースの中で、月1回のキックオフ・ミーティングを  
事前にテーマを決めた上で、開催はできた。  
毎回、リビート&新規で、対話は盛り上がっているが、  
引き続き、告知がギリギリ、大幅な新規メンバー増などは課題が残っている

課題：

つくりたいひと、応援したいひと、利用したいひと  
という異なるグループにむけているので、わかりにくくなっている

テーマ決め以上の計画性がない

事前告知などのマーケティングに関しての戦略を立てられていない

人手が足りない

対策：

仮説として、「つくりたいひと」向けの場合に集中したほうがもりあがるのでは＞  
確認のために、さんかしゃからヒアリングをおこなう。

参加者側の視点でキックオフミーティングのニーズを明確化する。

キックオフミーティングの意義の再定義を行うための最初の一步として、これまでの参加者からヒアリングを行う。

毎回のテーマ決めに丁寧に行う。

キックオフミーティングから話が上がった、居場所フェア開催に向けての具体的な取り組みを行う。

4) NPO 法人いきはぐと共催して、助成金獲得勉強会の運営

振り返り：

計画通り、LP 製作の外部コンサル導入や Web 広告の実施ができ、  
採算も取れた。

反省：

ビリーバーズ広尾の立て直して労力を使っていたために、楽しみながら取り組むことができなかった。  
Web 広告を戦略的に実施することができなかった。

課題：

LP の見直しや Web 広告の戦略の考え直し。

3 期の集客方法と 4 期の集客方法を踏まえ、今後の集客に関してどのような戦略をたてるのかが、明確にできていない。

対策：

助成金勉強会の卒業生の中からコアメンバーを育てて、第 5 期の運営メンバーにしていったり、キック  
オフミーティング  
のファシリテーションをになってもらうことで、  
助成金勉強会とキックオフミーティングを中心としたビリーバーズ・プロジェクトの維持拡大を有機的  
につなげていく

第 5 期の集客に関しては、第 3 期と第 4 期のマーケティング結果をみながら、  
より効果的な作戦を決める

5) 寄付金獲得

振り返り：

7 月の BBQ 参加費のあまり 15,000 円

蔵本の助成金勉強会事務手数料 5 万円のうち 1 万円の

計 25,000 円にとどまった。

楽器の寄贈を依頼したところ、

ウクレレ、太鼓、電子ピアノ等いただけた。

反省：

寄付金集めに関しての活動が何もできていなかった。

課題：

寄付集めに対して情報発信を積極的に行うための人材が足りない

対策：

一般社団法人ビリーバーズの HP もしくは、寄付専用の LP を作る

もしくは、寄付サイトに登録

第 3 期 2023 年 10 月から 12 月の間に、寄付金についてアクションを始める

(2) 3 か年計画の確認

対策：

まずは、月次の赤字解消に向けた具体策を実施する

売上増：

・新規入会からの継続利用を UP させる

見学、入会、初回利用時に丁寧な受け入れ態勢を行う

見学者を増やすための対策＝note, twitter, insta, FB など情報発信

・寄付金収入

・助成金獲得

コスト減：

・人件費の適正化

長時間シフト勤務者の調整、ボランティアの活用

対策 2：

社員総会までに、新しい理事を選定できるように

### 第3期の予算策定

ビリーバーズプロジェクト全体の3か年計画を、12月の社員総会までに立てる。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席理事の全員がこれに記名押印する。

令和5年9月19日

一般社団法人ビリーバーズ理事会  
代表理事 熊野 英一

理事 蔵本 美紀